

各 位

会 社 名 オンキヨー株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 大脳宗徳
 (J A S D A Q ・ コード 6 6 2 8)
 問 合 せ 先
 役 職 ・ 氏 名 代表取締役副社長 中野 宏
 電 話 0 7 2 - 8 3 1 - 8 0 0 1

営業外費用（為替差損）の計上および平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異ならびに通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 3 月期第 2 四半期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）において、下記のとおり営業外費用（為替差損）を計上することといたしましたので、その概要につきお知らせいたします。

また、平成 23 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 24 年 3 月期第 2 四半期の業績予想値と決算数値との差異が発生いたしましたのであわせてお知らせするとともに、平成 24 年 3 月期通期業績予想について修正をいたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の計上について

昨今の急激な為替相場の変動により、平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間において、為替差損 513 百万円を営業外費用に計上いたします。

2. 業績予想との差異および修正について

(1) 平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績との差異（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	23,000	△600	△700	△700	円 銭 △14.75
実績値 (B)	20,909	△1,378	△1,861	△2,336	△49.27
増減額 (B - A)	△2,090	△778	△1,161	△1,636	—
増 減 率 (%)	△9.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	23,949	△351	△683	△908	△19.16

(2) 平成 24 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	57,000	400	300	200	円 銭 4.21
今回修正 (B)	51,000	300	0	△300	△6.32
増減額 (B - A)	△6,000	△100	△300	△500	—
増 減 率 (%)	△10.5	△25.0	△100.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	52,613	433	277	58	1.23

(3) 差異および修正の理由

① 平成24年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異の理由

平成24年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績は、震災および為替の影響を受け、売上高、営業利益、経常利益および四半期純利益は前回発表予想を下回ることとなりました。営業利益は、レアアースの急激かつ異常な価格高騰やその他基礎資材等の原材料価格の高止まりに加え、円高による売上総利益の目減り等により、予想を下回る結果となりました。四半期純利益につきましては、平成23年9月29日公表の「本社移転および固定資産の譲渡ならびに特別損失の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、固定資産の売却に伴う特別損失を計上したことにより、予想を下回る結果となりました。

② 平成24年3月期連結通期業績予想の修正の理由

売上高につきましては、円高の影響を受け減収となる見込みですが、営業利益につきましては、売上高の減収の影響を受けるものの、製造コストのさらなる削減と固定費の圧縮に加え、レアアース等の価格高騰分を製品の販売価格への転嫁により中期的に補填できる見込みであることなどにより、当初予想より若干下回るに止まるものと予想しております。経常利益につきましては、今後も円高の状況が続くことが予想されることから当初予想を修正いたします。当期純利益につきましては、本社の移転費用の発生を見込み当初予想を修正いたします。

なお、タイで発生した洪水の長期化が懸念されており、今後、業績に重大な影響が発生すると判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上